

小樽文学館と模型クリエイター

展示をつくる

仕事の舞台裏

2025.4.5 土 - 6.22 日

開館時間：9時30分～17時（最終入館16時30分まで） 休館日：月曜日（5/5を除く）、4/30（水）、5/7（水）～9（金）・13（火）

会場：2階 文学館展示室 入館料：一般300(240)円、高校生・市内高齢者150(120)円、障がい者・中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5 tel.fax.0134-32-2388

後援：小樽文学会



「模型クリエイター」は展示模型などの作り手をさします。

専門に制作する業者も存在しますが、小樽文学館ではこれまで技術を持った職員や協力者が制作をおこなってきました。その出来栄は専門業者にも引けを取らないものばかりです。

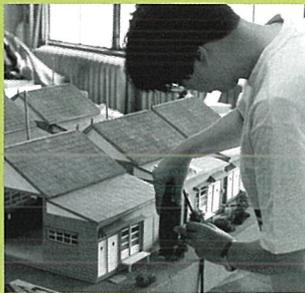
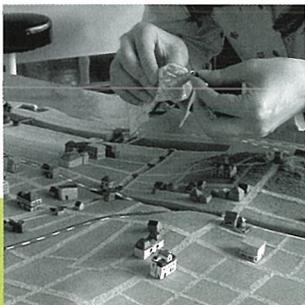
開館 47 年目を迎え、これまで制作・活用された模型などのコレクションを制作過程とともに展示します。何気なく展示されている模型ですが、よりリアルに効果的に作るため様々な工夫とこだわりが凝縮しています。

影に隠れてしまう仕事にスポットライトを当て、普段は目にできない文学館展示の「裏側」をご紹介します。

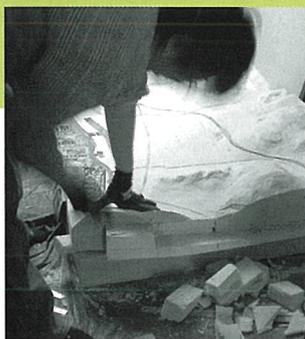
ヤモリ
(小樽・札幌喫茶店物語展)



ちまちな人形
(大野百合子展)
制作：高山美香



アトリエ村
(池袋モンパルナス展)



模型制作：田中まり



伊藤整の通学列車 (若い詩人の肖像展) 制作：渡辺真吾



ミントウチ
(増殖する怪異展)

関連イベント

● 5月17日 (土)

展示解説 要入館料

本展担当学芸員による解説

14:00~14:40 2階 文学館展示室



● 6月8日 (日)

講演 聴講無料

制作者による解説とお話「わたしの模型の作りかた」

14:00~15:30 1階 研修室



会場：小樽文学館

定員：各回 40 名

申し込み：tel. 0134-32-2388 または Logo フォーム QR コード

同時開催 2025. 4/5 (土) - 6/22 (日)

没後 20 年

詩人・木ノ内洋二と 1980 年前後の小樽

稲垣足穂や濵澤龍彦に師事し、膨大な知識と広い交友関係から小樽の文化を支えた一人の詩人の足跡を没後 20 年の節目にたどります。

JR函館本線	
● 小樽駅	
● 産業会館	● サンビルスクエア
● 郵便局	● オークホテル小樽
● 旧手宮線	
● 金融資料館 (旧日本銀行)	● 小樽文学館
● 郵便局本局	● 小樽芸術村
● 小樽運河	



公式 X で
最新情報発信中!